

平成 26 年政策評価書

千葉県警察重点目標	大規模災害、テロ等緊急事態対策の推進と成田空港をめぐる情勢を踏まえた警備諸対策の推進
施 策	災害対策の推進
施 策 目 標	防災訓練の推進及び災害用装備資機材の整備拡充
施策設定の背景	<p>千葉県は東日本大震災で、地震や津波により甚大な被害を受けました。また、県内には日本有数の石油コンビナートや成田国際空港、千葉港を擁しており、石油コンビナート事故や航空機事故等、大規模事故の発生も懸念されます。</p> <p>よって、各種教養や訓練を反復継続して推進し、防災や危機管理意識を醸成させるとともに、災害用装備資機材の整備に努め県民の安全確保を図る必要があります。</p>
実 施 項 目 1	実践的災害警備訓練・危機管理醸成訓練の推進
推 進 結 果 1	<p>県警では、東日本大震災への対応で得られた反省・教訓を踏まえ、既存の災害に係る危機管理体制を再点検し、今後発生し得る災害に備え、訓練を実施したり、災害用装備資機材を整備するなどこれらを再構築してまいりました。</p> <p>1 防災訓練等の実施</p> <p>東日本大震災の反省・教訓を踏まえ、いかなる状況においても迅速・的確な警察活動が展開できるよう、実践的な災害警備訓練を実施するとともに、自治体・企業等の関係機関と連携した防災訓練に積極的に参加し、災害発生時における対処能力の向上を図りました。</p> <p>2 災害用装備資機材の整備拡充</p> <p>大規模地震等発生時に、県民の人命保護を最優先とした迅速な救助活動が展開できるよう、救命胴衣、救命浮き輪等の救出・救助資機材の整備を推進しました。</p>
実 施 項 目 2	関係機関と連携した合同訓練の推進
推 進 結 果 2	<p>1 関係機関との合同防災訓練の実施</p> <p>九都県市合同防災訓練（千葉県及び千葉市会場）への参加をはじめ、関係機関等と連携し、地震や津波等の自然災害、航空機、列車等の大規模事故災害など多様な形態を想定した実践的訓練を推進しました。</p> <p>また、東日本大震災において、多数の帰宅困難者が発生したこ</p>

とから鉄道会社と協力した避難誘導訓練を推進しました。

2 地域における防災訓練への積極的な参加

各市町村防災訓練への参加をはじめ、高齢者等の災害時に支援を要する者等（避難行動要支援者）を災害から守るべく、老人ホームや介護施設等との防災訓練をしました。

また、東日本大震災の甚大な津波被害を受け、保育園、小学校をはじめ、自治会等と合同で、津波に対する危機意識の醸成を目的とした津波避難訓練を推進しました。

3 実践的な災害警備訓練の実施

大規模災害発生初期を想定した県警全職員参加型の災害警備訓練を推進しました。

また、東日本大震災での災害派遣活動に備え、実践的な装備資機材習熟訓練を推進しました。

実施項目 3 災害用装備資機材の整備

推進結果 3 平成26年度は、災害発生時の救出・救助活動に迅速的確に対応するため、ライフジャケットや救命浮き輪等の災害装備資機材の整備を図りました。

ライフジャケットは、全警察署に総数4,674着を整備する予定で、現在まで2,598着（約55.6%）、救命浮き輪は、全警察署に560個を整備する予定で、現在まで444個（約79.3%）の整備を図りました。

実績（成果）

○ 平成26年度中における各種防災訓練実施状況

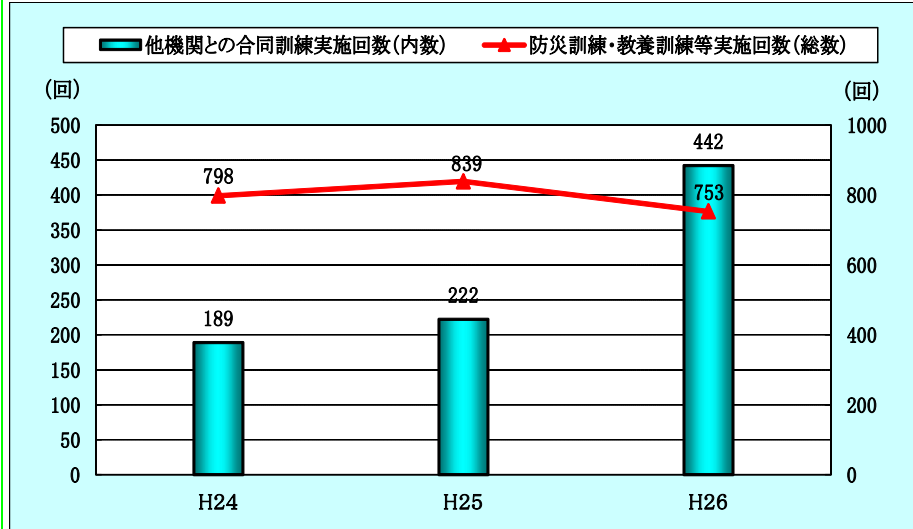
訓練内容	総数
警察本部主導訓練・教養（関係機関合同）	27回
警察本部各課・関係機関との合同訓練	134回
警察本部各課個別訓練・教養	208回
警察署・関係機関等との合同訓練	281回
警察署個別訓練・教養	373回
広域緊急援助隊訓練	172回
合計	1,195回

○ 平成26年度中における災害用装備資機材等の整備推進状況

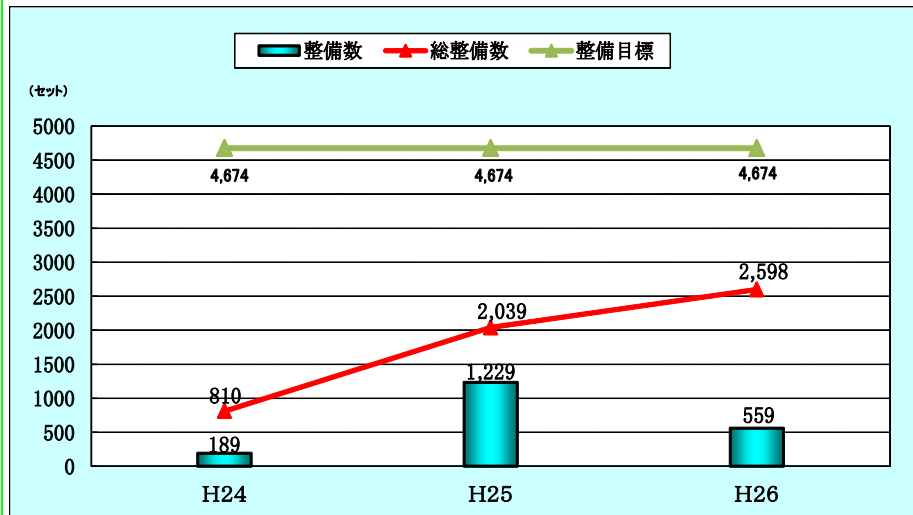
災害用装備資機材	平成26年度中	現在までの総数	整備目標
ライフジャケット	559着	2,598着	4,674着
救命浮き輪	42個	444個	560個

実績（成果）指標

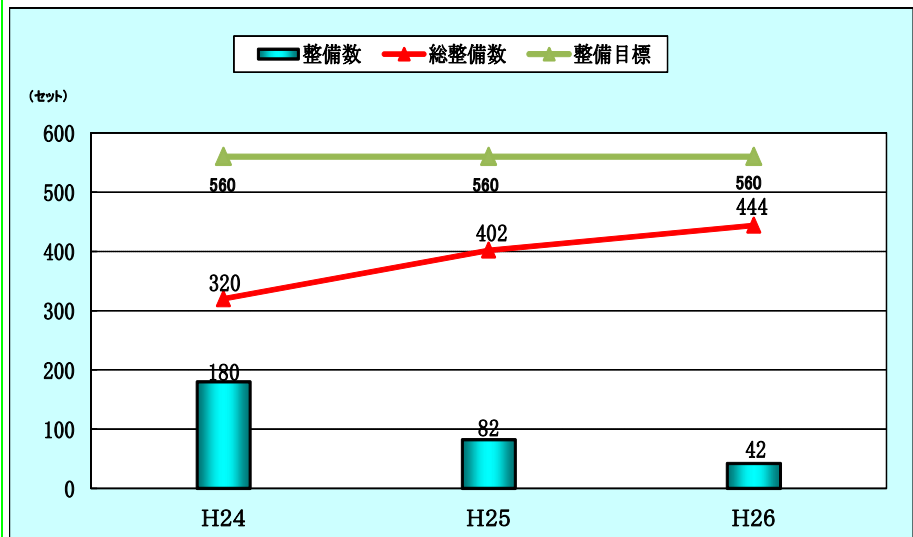
【関係機関との合同訓練等各種防災訓練実施状況】



【災害用装備資機材（ライフジャケット）の整備推進状況】



【災害用装備資機材（救命浮き輪）の整備状況】



参 考 指 標	
効 果	<p>実践的な災害警備訓練や各種教養により、危機管理意識が醸成されるとともに、災害用装備資機材の整備拡充を図ることにより、東日本大震災と同規模の災害発生時における警備体制の早期確立や円滑な災害警備活動等を図ることができました。</p>
今 後 の 課 題 及 び 方 針	<p>1 今後の課題</p> <p>東日本大震災後、千葉県警察災害警備計画及び千葉県警察業務継続計画を策定し、的確な対応が可能な体制は確立しましたが、今後も、実情に即した計画書の見直しを行うとともに、各種教養や訓練を反復実施して、大規模災害発生時に的確な対応が図れるようにしておく必要があります。</p> <p>2 方針</p> <p>大規模災害時において、直ちに警備体制を確立し、千葉県警察の総力を発揮して、人命の保護を第一義とした災害警備活動が迅速・的確に展開できるよう、災害警備対策を推進していきます。</p>
施 策 主 管 課	警備部警備課
政 策 評 価 担 当 課	警備部公安第一課